

研究テーマ「平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして」

I 研究の内容

1 研究の方法

- (1) 部員各自の実践の報告
- (2) 情報交換, 情報提供による学習
- (3) 授業提案による研究(統一授業研)

2 研究経過

- 5月 8日 テーマ, 研究計画決定
- 5月19日 情報交換・実践発表
- 6月 2日 情報交換
- 6月23日 実践発表・資料提供・指導案検討
- 8月 2日 指導案検討・臨地研修『七里が岩壟壕跡』(韭崎市), 『ロタコ(御勅使河原飛行場跡)』(南アルプス市)
- 9月 1日 研究授業
- 9月29日 研教研りレポート検討・実践報告
- 11月24日 実践報告・指導案検討・県教研還流報告
- 2月 9日 研究授業
- 2月16日 実践報告・資料提供

II 成果と課題

1 成果

①「広がり」というテーマについて,

- ・ 部員からの多種多様の実践報告があり見識が広がった。
- ・ 実践や各校の取り組みの情報が共有でき, よい実践の「広がり」の可能性ができた。
- ・ 授業研究(人権教育)を通して, 人権教育に関する見識が深まった。
- ・ 隣地研修により, 県内の戦争遺跡の学習ができた。
- ・ 授業案検討において子どもの立場で考えたり, 活動についての予想をたてたりしたことで授業のねらい, 児童につけたい力など共通理解がもてた。

2 課題

- ・ 各自が提案し共有した実践を, 部員だけのものではなく, 東山地区全体に広げるためにはどうしたらよいか。各自がじっせん
- ・ 追試にも目が向けられるようになってきているので, お互いの実践を自分なりにアレンジ

して部会に戻すことでさらによいものになっていくだろう。

- ・ 戦争遺跡や多くの資料を、どのように教材化し活用するか検討の余地がある。
- ・ 自立と共生、ジェンダーに関する内容について深め、県教研へのレポート提出ができればよい。
- ・ 授業研に向けての指導案検討の時間が十分に確保できなかった。

### Ⅲ 成果物

#### 1 指導案

- ・ 2年道徳学習指導案「一枚の絵から」廣瀬剛（日下部小）  
◇ねらい： 相手のことを思いやり親切にすることを理解し、学校生活の中でも実践していこうとする意欲を育てる
- ・ 3年学級活動指導案「きまりよい生活習慣と望ましい人間関係のあり方」前島国学（菱山小）  
◇ねらい： 相手の立場になって物事を考え、友達を大切にしようとする気持ちを持つ。  
学級の一員として、よりよい学級にしようとする気持ちを持つ。

#### 2 実践報告資料

- ・ 平和教育実践「なぜ、あんなに」岩下城（牧一小）
- ・ 国際連帯実践「外国の人が好きな国・日本」中村裕司（玉宮小）
- ・ 人権教育実践「構成的グループ・エンカウンターを取り入れた実践「4つの窓」」山宮由紀（日下部小）
- ・ 国際連帯実践「世界の子どもについて考える」的場泰子（日下部小）
- ・ 人権教育実践「あなたのたいせつなひとは？」保坂千恵子（日下部小）
- ・ 人権教育実践「みんなだいすき」甘利志賀峰（祝小）
- ・ 平和教育実践「「今、生きている一人として」を考える」三森公仁（塩山南小）
- ・ 平和教育実践「ぞうれっしゃがやってきた」岡ひさ江（菱山小）
- ・ 人権教育実践「ありがとう」武井美香（山梨小）
- ・ 人権教育実践「言葉のキャッチボール」岩下城（牧一小）

#### 3 提供資料

- ・ 平和教育資料「「鳥歌」を知っていますか」樋口美根夫（八幡小）
- ・ 平和教育資料「わだつみ文庫」三森公仁（塩山南小）
- ・ 平和教育・国際連帯資料「北方領土の日にむけて」樋口美根夫（八幡小）
- ・ 平和教育資料「焼け野原になってしまった私たちの町～甲府空襲～『もう一つの七夕の夜』」  
甲府市教育協議会平和教育部会より

（部長 中村 裕司）